

## 令和4年度 芦屋町健康づくり推進協議会議事録

会議名	令和4年度 健康づくり推進協議会
日時	令和4年10月4日（火）14:00～15:30
会場	芦屋町役場 3階 31会議室
議題	議事 (1) 令和3年度芦屋町保健事業報告 (2) 令和3年度特定健診・保健指導・がん検診について (3) 令和4年度芦屋町保健事業計画について (4) その他
委員の出欠	出席11名 欠席1名
合議事項 決定事項	(1) 令和3年度芦屋町保健事業報告について ・事務局より報告を行い、委員の意見を求めた。 （意見等は別紙のとおり） (2) 令和3年度特定健診・保健指導・がん検診について ・事務局より報告を行い、委員の意見を求めた。 （意見等は別紙のとおり） (3) 令和4年度芦屋町保健事業計画について ・事務局より報告を行い、委員の意見を求めた。 （意見等は別紙のとおり） (4) その他 ・特になし

### 議事

#### (1) 令和3年度芦屋町保健事業報告について

(事務局)

資料1を用いて、事務局より説明。

#### 【質疑・意見等】

(委員)

母子保健事業の(11)ほほえみ相談について対象が乳幼児となっているが、9歳が2人という記載がある。これはなぜか。また、1人あたりどれくらい相談時間がかかっているか。

(事務局)

9歳の利用者については、町内の各小学校において、臨床心理士による巡回相談を行っており、その中で相談を希望する小学生もほほえみ相談を利用している。相談時間については、基本1回の相談で30分の時間枠をとっており、発達検査や相談が長引きそうな場合は、1時間の枠をとって対応している。

(委員)

母子保健事業の(3)不妊治療費助成事業について、不妊治療で19人の子どもが生まれているとのことだが確率としてはどうなのか。

(事務局)

助成の対象が体外受精、顕微授精、男性不妊治療となっている。全員が1回の治療で妊娠しているわけではなく、何回か治療した上で妊娠しているケースもあるが、確率的には高いと考える。なお、出生数19人というのは、この事業が始まった平成28年度からの累計数となっている。

(委員)

この助成制度が19人の子どもの出生に繋がったことは、良いことだと思う。不妊治療に関して芦屋町は町独自で県の助成額に上乗せしている。町で子どもを増やす取り組みをしているということは有難いと思う。

(事務局)

不妊治療助成事業については、不妊治療が令和4年度から保険適用になったことに伴い、県の助成はなくなり、併せて町の助成もなくなることになる。

(委員)

これまで、芦屋町独自の助成をしてきたので、保険適用になったから廃止するのではなく、別途、新たな支援をするなどあってもよいと思う。しっかりと事務局で考えてもらえればと思う。

(委員)

5ページの表で産後ケア事業の利用者数の実人数が2人になっているが、3人ではないのか。

(事務局)

デイサービス利用者が1人、ショートステイの1泊2日の利用者が1人、2泊3日の利用者が1人で合計すると3人になるが、ショートステイは同じ人が2回利用しているなので、実人数としては2人になる。

## (2) 令和3年度特定健診・保健指導・がん検診について

(事務局)

資料2を用いて、事務局より説明。

### 【質疑・意見等】

(委員)

健康ポイントアプリの取り組みについて、町独自ではどのような特典があるのか。

(事務局)

福岡県のポイントアプリを利用している芦屋町民に対し、抽選で商工会商品券を贈呈している。

(委員)

特定健診の継続受診率向上の取り組みとして、2回連続受けた人は3回目が無料になるということだが、さらに継続していくと、ずっと無料になるという解釈で良いか。また、後期高齢者健診はどうなるのか。

(事務局)

継続受診すれば、ずっと無料となる。この事業は、特定健診の事業なので、後期高齢者健診は対象としていない。

(委員)

特定健診の受診率向上に結び付けることは大変だと理解している。令和3年度において、コロナ禍の状況でありながら、受診率が向上していることは、十分に評価できる。関係機関との連携など受診しやすさの工夫が受診率向上に繋がっていると思う。

(委員)

40～50代の特定健診の受診率が低い。この世代に対しても今後受診率向上の取り組みを進めてもらいたいと思う。

**(3) 令和4年度芦屋町保健事業計画について**

(事務局)

資料3を用いて、事務局より説明。

**【質疑・意見等】**

(委員)

様々な事業の計画がある中で、芦屋町が独自で行う事業について整理し、町のPRにつなげると良いと思う。

**(4) その他**

**【質疑・意見等】**

特になし。